

Sweets Generation

～お菓子の素顔～

2012/01/11

豊島岡女子学園中学校

SL122116 中学

メンバー名(中学3年)

- 井手 理央子
- 大西 佑佳
- 米谷 珠萌(チームリーダー)
- 保川 聡子

担当教諭

- 岡崎 幸見先生



私たちが投資した企業

※取得金額順です。

投資銘柄	コード	市場	取得単価	取得金額
森永製菓	2201	東証 1 部	184	643080
明治ホールディングス	2209	東証 1 部	3320	640760
不二家	2211	東証 1 部	168	395808
カン口	2216	東証 2 部	391	395692
モロゾフ	2217	東証 1 部	271	395660
江崎グリコ	2206	東証 1 部	907	395452
名糖産業	2207	東証 1 部	983	395166
カルビー	2229	東証 1 部	3,665	296865
亀田製菓	2220	東証 2 部	1,445	296225
ブルボン	2208	東証 2 部	1,061	296019
シベール	2228	ジャスダック	262,500	288750
岩塚製菓	2221	ジャスダック	2,700	197100
B-R サーティワンアイスクリーム	2268	ジャスダック	2885	196180
森永乳業	2264	東証 1 部	292	98696

(円)

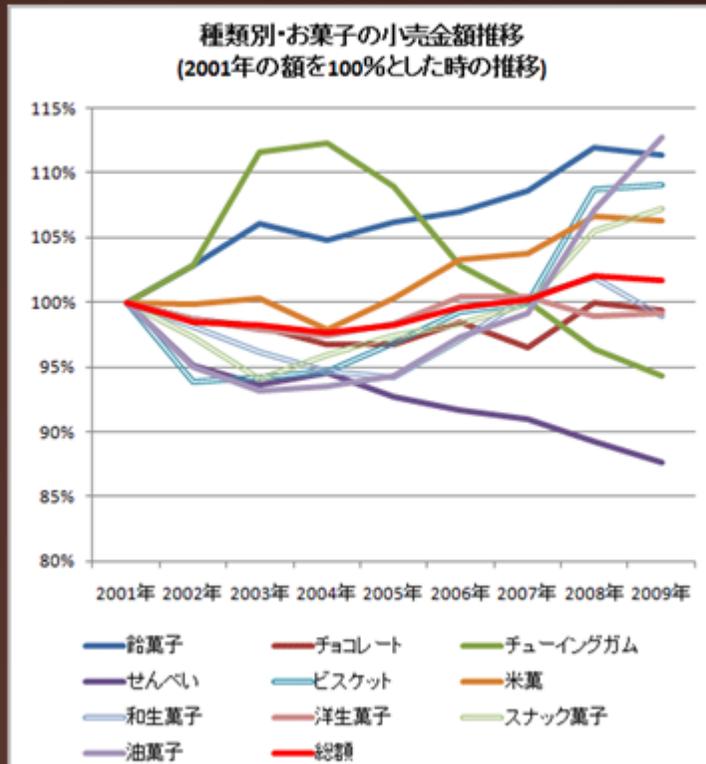
私たちが参加を決めた理由

私たちは先日、授業で株取引について習いました。私たちの父たちも株取引をしているので興味を持ち、先生と話をしたところ株取引のことについて詳しく教えてくださいました。そして、ヴァーチャル株取引ができるという日経ストックリーグのことを知り面白そうだと思い、参加を決めました。

お菓子をテーマにした理由は、私たちの身近にあるものは何かと考えたときにお菓子がその多くを占めているのではないかと思ったからです。そこで、お菓子について調べてみることにしました。

今世紀に入ってからのお菓子の売れ行き

<http://news.livedoor.com/article/detail/4716803/>



より、お菓子の売れ行きは全体的に安定していますが、種類によって違いがあるようです。



例えば、チューイングガムです。2003年頃は非常に小売金額が高くなっていました。その理由を調べたところ、このころボトルガムが流行していました。

また、油菓子の2008年頃からの伸びが大きいのは、その代表格であるかりんとうのブームが到来したからです。

身近な流行が株の動向に反映されることに私たちは魅力を感じたのです。

投資をするにあたって

私たちは、投資するにあたって、一般的なお菓子の嗜好を把握するために口頭アンケートを女子中学生50人に行いました。

好きなお菓子(複数可)



- チョコレート
- 飴
- スナック菓子類
- アイス
- 煎餅
- その他

『Q.1 好きなお菓子は?』

この質問で、お菓子の種類別の需要を調査しました。需要が大きいほどより注目する必要があると思ったからです。

今回はチョコレート、飴、スナック菓子、アイス、煎餅、その他の順に女子中学生の需要が多いという結果になりました。その他にはかりんとうやラムネなどがありました。

『Q.2 お菓子を販売する企業といえど?』

お菓子の企業といえど?



- 明治ホールディングス
- 森永製菓
- 江崎グリコ
- 不二家
- その他

次に、この質問で私たちはお菓子を販売する企業の知名度を調査しました。認知度が高いということは消費者がその企業の商品と接する機会が多い、つまり、需要が大きいということにつながるはずですが。

今回は、明治ホールディングス、森永製菓、江崎グリコ、不二家、その他の順に女子中学生の知名度が高いことが分かりました。

そして、アンケートの結果、

① お菓子を主要な商品とする企業

→投資決定

② Q1 で上位のお菓子を販売する企業

→額を増やす

③ 知名度が高い企業(Q2)

→額を増やす

まずは、この条件で投資する企業をしぼりました。

① は、私たちが投資した全ての企業に当てはまる条件です。

②より、

チョコレートを販売する企業

→森永製菓、明治ホールディングス、不二家、モロゾフ、江崎グリコ、名糖産業、ブルボン

飴を販売する企業

→カンロ

スナック菓子類を販売する企業

→カルビー

アイスを販売する企業

→B-R サーティワンアイスクリーム、森永乳業

煎餅を販売する企業

→亀田製菓、岩塚製菓

その他→シベール

③は前頁下図参照

原材料価格の高騰について

日経会社情報より、様々な企業において“原材料価格の高騰”という事柄が重要ではないかと私たちは判断しました。そこで、お菓子の原材料としてカカオ、砂糖、とうもろこし、生乳の原材料価格の変動を調べました。

●カカオ

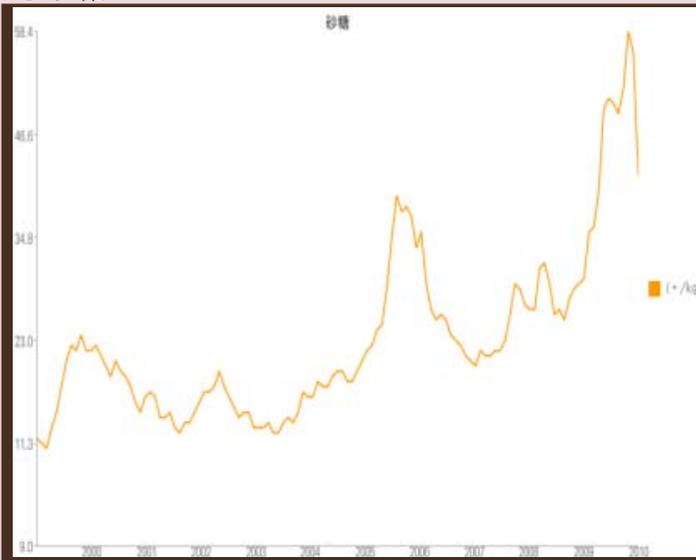
2006年1月から2011年11月までのグラフです。2006年の終わりごろからカカオ豆の1トンあたりの値段は、だんだんと上昇し始め、最近では2006年ごろと比べて2倍ほどの値段になっています。原因としては、様々な憶測がたてられていますが、カカオの主要な産出国であるコートジボワールの輸出禁止や、投機マネーによる価格の高騰が主です。

カカオ豆価格

単位:US ドル/トン



● 砂糖



縦軸は下から、
9.0/11.3/23.0/34.8/45.6/53.4
横軸は2000年から2010年まで、1年ごとに記してあります。

砂糖の価格は2000年ごろからだんだんと上昇していますが、2009年ごろからは著しい上昇をみせています。原因としては、様々な理由が考えられますが、近年注目されているバイオエタノールによりサトウキビの生産が回らなくなっているというのが大きなものです。

● どうもろこし

どうもろこし価格



カカオと同様に2006年1月から2011年11月までのグラフです。2008年ごろと、2010年の中ごろから現在にかけてグラフに山があります。原因としては、どうもろこしを原料とするバイオエタノールにより、生産が回らなくなっていることです。

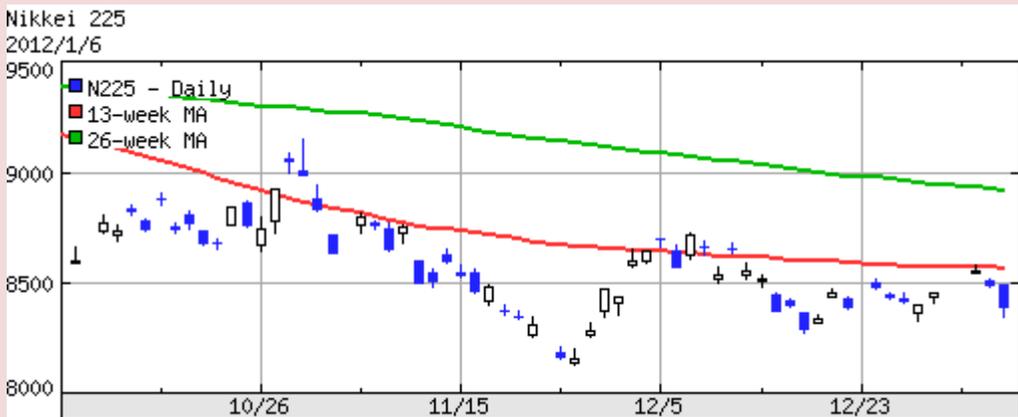
●生乳

2011年4月に震災の影響で酪農家からの生乳買い取り価格を1キロあたり3円の値上げをし、さらに同年10月16日には飲用向けの生乳を2012年3月から1キロあたり10円値上げすることになりました。

この結果からカカオ、砂糖、とうもろこし、生乳の価格は年々上昇していることが分かりました。特に、ここ3年ほどの価格上昇は著しいものです。よって、原材料価格の高騰は特に最近企業の活動に影響を及ぼしてきました。

投資した企業について

●日経平均株価の推移



(C) 2012 Yahoo Japan Corporation. <http://stocks.finance.yahoo.co.jp>

仮想資金500万円による株の購入をした12月1日からのデータに注目します。

12月初旬は比較の日経平均株価は高めに推移していましたが、同月中旬は下落が続く、それから新年にかけて緩やかに上昇をしています。ヨーロッパの金融不安により、なかなか安定が難しい市場でした。そして、2012年1月6日にユーロに対する円高が一層進行し、1ユーロ=98円台に突入しました。その影響で日経平均株価は大幅な下落をしています。

☆森永製菓 コード:2201

・日経会社情報より

【原材料高響き経常減益に】震災で菓子新商品の販売が先送りになり期初の販売が失速。消費の冷え込みも想定し減収に。原材料高も収益を圧迫し経常利益は1割減に。子会社売却益などで純利益は増加。

・データ

資本金:186億1千円

従業員数:1704人(2011年3月31日時点)

森永製菓は、『おいしく たのしく すこやかに』を基本理念に世界の人々の豊かで安全な食生活の実現と健康の増進に貢献するために『食』を通して価値と感動を消費者に届けています。

・商品

チョコボールや DARS といったチョコレートを使用する商品が大変有名です。ミルク感たっぷりでコク深い味わいに代表される、新しい製法や味わいづくりに挑戦しています。



・株価



グラフより、12月1日購入時は株価が高い時でした。その後、しばらく株価は下落傾向にありましたが、新年にかけて上昇という日経平均株価と同じような推移をしています。

・投資額：約 65 万円

☆明治ホールディングス コード:2269

・日経会社情報より

【収益上振れ濃厚】震災で主力の乳製品などの供給に制約。2%近い減収見込む。原材料高の影響などもあり、経常利益は減少へ。純利益は微増。足元の収益は計画以上の進捗で、上振れの可能性が濃厚

・データ

資本金:336 億 44 万円

従業員数:14860 人(グループ全体 2011 年 3 月末現在)

「私たちの使命は『おいしさ・楽しさ』の世界を上げ、
『健康・安心』への期待に応えてゆくこと
私たちのねがいは『お客様の気持ち』に寄り添い、
日々の『生活充実』に貢献すること
私たち明治グループは『食と健康』のプロフェッショナルとして
常に一歩先を行く価値をつくりつづけます」
を基本理念に「夢のあるお菓子」を創造しています。

・商品

明治ミルクチョコレートをはじめ、メルティーキッスなど様々なチョコレートがあります。チョコレートを製造、販売するのは明治ホールディングスの子会社である明治製菓です。明治製菓はチョコレートに関して、カカオ豆研究や製法、設備研究、おいしさの保持研究などを通じて新しい価値を創造しています。

・株価



株価は安定を続けていましたが、12月初旬に大きく値を下げています。これは、12月6日に明治HDの子会社の明治乳業が販売する、粉ミルク「ステップ」から微量の放射性セシウムが検出されたためです。その後は大幅下落後の株価で安定をしています。

・投資額：約65万円

《ここまでの投資》

以上2社には約65万円の投資をしました。これはチョコレートを販売する企業の中で特に知名度が高く、チョコレートを主に販売し、企業の規模が大きい(資本金が多い)からです。

☆不二家 コード:2211

・日経会社情報より

【営業段階から黒字確保】決算期間が12か月に正常化。中国で菓子事業を手掛ける子会社を連結対象にしたことで収益にプラスに寄与。洋菓子店の新設に加え「カントリーマアム」などの拡販も進展。営業段階からの黒字確保を狙う。足元は震災関連の特別損失発生により最終赤字。年間配当はゼロを継続。

・データ

資本金:182億8014万円

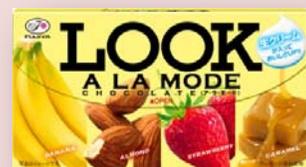
従業員数:1005人(2010年12月末)

「常によりよい商品と最善のサービス(ベストクオリティ、ベストサービス)を通して、お客様ご家族においしさ、たのしさ、満足を提供する」を基本理念に工夫された商品を消費者に提供しています。

・商品

チョコレートではLOOKが人気です。

チョコレートを口にするまで食べやすさを追求したアイデアに包まれた、ワクワクのためのこだわりが詰まった商品です。



・株価



12月1日の購入時からだんだんと株価は下落していますが、12月の下旬から安定をしてきています。

・投資額：40万円

☆カンロ コード:2216

・日経会社情報より

【原料高が左右】個人消費の回復や震災で被害のあった他社からの一時的な代替需要があり、主力ののどあめやグミが好調。前年に落ち込んだ反動もあって増収。二月稼働の長野のグミ新工場により減価償却費が年2.5億円増加。上期は増益を確保した下期は包材や燃料の高騰を懸念。通期では減益に。

・データ

資本金:28億6400万円

従業員数:428人(2010年12月末)

「消費者に『おいしさ・たのしさ・健康』を提供する」を基本理念に人の心に愛を語りかけるような夢のある製品づくりを目指しています。

・商品

あめとしては、果実のどあめが人気です。同社には、ピュレグミなどの人気商品もあります。カンロはお口の童話を消費者に提供しています。

・株価



12月初旬から中旬にかけて株価が上昇しました。そして12月下旬で一度大きく上

昇し、その後大きく下落しています。

・投資額：約 40 万円

☆モロゾフ コード:2217

・日経会社情報より

【増益】チョコレートなど菓子の売り上げは東日本大震災による百貨店の営業時間短縮が響くが、ゼリーの新商品販売の伸びで補い、売上高は微減。カカオや油脂といった原材料価格の上昇を人件費の見直しで吸収、経常利益は大幅増。10月からネット通販開始。株主は2割引きで購入できるよう優待拡充。

・データ

資本金:37 億 3746 万円

従業員数:781 人(2011 年 7 月末)

“ロマンのあるスイーツ”を企業テーマに

『健康、清潔、良心的で質において一流であり世界に通用する企業となる』を基本理念に消費者においしい商品を提供しています。

・商品

日本で最初にバレンタインチョコレートを販売したのがモロゾフです。「贈り物を楽しむ」という心温まる暮らしを伝えたいと様々なチョコレートを販売しています。

・株価



株価は上昇と下落を繰り返しています。変化は 10 円ほどです。長期的にはかなり安定しているといえます。

・投資額：約 40 万円

☆江崎グリコ コード:2206

・日経会社情報より

【原材料高で営業減益】乳製品はキリンビバレッジからの受託販売分が上乘せ。冷菓は節電需要と猛暑による販売増に期待。菓子は主力品と新製品の積極的拡販進めて増収だか、原料や資材高で原価率が悪化。販売促進費や運送費の増加も響いて、営業益は大幅減。震災関連の特別損失なくなり、純利益は横這い。

・データ

資本金:77億 7300万円

従業員数:1059人(2011年3月末)

「おいしさの感動を 健康の喜びを 生命の輝きを」を基本理念においしさと健康について探求しています。

・商品

ポッキーなどのチョコレートの新しいスタイルの確立でロングセラー商品を輩出しています。

・株価



12月中旬までだんだんと株価は下落していましたが、その後は安定しています。原材料価格の高騰が原因のようです。

・投資額：約 40 万円

☆名糖産業 コード:2207

・日経会社情報より

【原材料高響き最終減益】チョコレートや粉末飲料は堅調。糖類、包装資材など原材料価格の上昇が利益圧迫。新工場の減価償却費の増加も響き最終減益。

・データ

資本金:13億 1325万円

従業員数:365人

「食品と化粧品に関連分野をベースとして おいしさ,楽しさ,健康を追求し,お客様に喜ばれる商品を提供します」を基本理念にしています。

・商品

代表格はひと口チョコの決定版であるアルファベットチョコレートです。みんなに配る時に人気です。



・株価



全体的にみると少しずつ下落していて、1日のなかでの動きが大きいです。ここから株の売買が盛んであることが推測されます。

・投資額：約 40 万円

《ここまでの投資》

以上 5 社には約 40 万円を投資しました。チョコレートを販売している、または冬季に需要が伸びる飴を販売している企業です。

☆カルビー コード:2229

・日経会社情報より

【販売伸び増益】3%増収を狙う。原材料などの調達体制見直しでコスト削減も実施。原材料高を補い営業段階から各利益が増加の見込み。足元は震災直後の新商品投入時期のずれで販売減。利益も大幅減。

【増産】野菜チップスを増産。12年春までに西日本の工場にラインを導入。販売エリアも広げる方針。

・データ

資本金:107 億 4400 万円

従業員数:2896 人

「私たちは自然の恵みを大切に生かし、おいしさと楽しさを創造して人々の健やかなくらしに貢献します。」を基本理念にしています。

・商品

じゃがいものおいしさと豊かな風味を味わえるポテトチップスやじゃがりこなどを販売しています。



・株価



12月から株価はだんだんと上昇しています。その中で少しずつ安定をしてきています。

・投資額：約30万円

☆亀田製菓 コード:2220

・日経会社情報より

【主力商品好調】「亀田の柿の種」と「ハッピーターン」以外に「まがりせんべい」や「ぼたぼた焼」などの製品が包装材の変更の効果が出て売り上げが伸び、増収となる。中国や米国など海外展開も加速させる。原材料価格高騰の懸念も広告宣伝費や販促費の低減などで経常、最終利益とともに増加の見通し。

・データ

資本金:19億4613万円

従業員数:2863人(2011年3月11日)

「会社に関わるすべての者の要望に応える。」と「会社の永劫の存続をはかる。」を基本理念にしています。

・商品

黄金比率や一つ一つの焼き上がりの美しさにまでこだわった柿の種やハッピーターンなどがあります。

・株価



株価は12月初旬からは上昇しています。12月下旬からは安定をしています。

・投資額：約 30 万円

☆ブルボン コード:2208

・日経会社情報より

【予想据え置き】震災の影響でミネラルウォーターの需要高まる。飲料のほかビスケット、チョコレート、キャンディー品目の販売も好調。コスト削減に努め。一部の原材料価格の上昇を吸収。ただ猛暑が続くと毎年菓子の需要が弱くなるうえ、先行き不透明も強まり利益見通しは当初予想を据え置き。

・データ

資本金:1036 億円

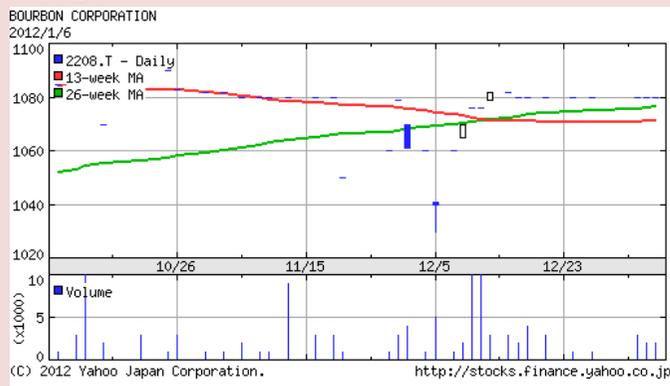
従業員数:約 5000 人

「利害相反する人を含め、集団の生存性を高める。」を基本理念に安全な食品とサービスを提供しています。

・商品

アルフォートなどチョコレートの配合を見直すなどおいしさを追求した商品を提供しています。

・株価



とても安定していて、あまり大きな変化は見られません。

・投資額：約 30 万円

☆シベール コード:2228

・日経会社情報より

【増益基調】震災直後は販売落ち込むも 4 月以降急回復。主力のラスクの通販伸び悩むが、店舗販売部門が好調。11 年 8 月期は赤字懸念覆し経常増益確保。12 月 8 月期も増収増益。配当も年 3000 円維持。

【店舗網再編】

仙台圏の店舗網を今秋メドに再編。郊外型店舗を新設、既存の 1 店舗改装。2 店舗を閉鎖。

・データ

資本金:4億8835万5000円

従業員数:238人

「日本の食卓の情景

ゆかしい贈り物の風習を

豊かで創造的幸福感

満ちたものにする。

そして私たちも仕合わせになる。」を基本理念にしています。

・商品

主力の商品は手作りのハート形のラスクです。インターネット上での通信販売をしています。

・株価



長期的にみると安定していますが、ゆるやかに上昇しています。

・投資額：約30万円

《ここまでの投資》

以上4社には約30万円を投資しました。スナック菓子または煎餅を販売する企業です。ブルボン株取引が不規則であり、シベールは1株が高いためにこの投資額にしました。

☆岩塚製菓 コード:2221

・日経会社情報より

【中学生とのコラボ商品拡充】包装材などの原材料費の上昇が響き、4~6月期は営業赤字拡大。秋にかけて新製品4品を投入し、販売費の負担に見合うシェア拡大に努め、4期ぶりの営業黒字転換を目指す。東京都内の女子中学生と共同開発した新商品を5品に増やし、未開拓の若年層の市場開拓も進める。

・データ

資本金:1634万7504円

従業員数:983人(2011年3月)

「日本の伝統ある食文化を世界に広め、人々に喜びと豊かさを提供します。」を基本理念にしています。

・商品

歯ごたえと黒豆の香ばしさが特徴的な黒豆せんべいなどがあります。

・株価



安定を続けていましたが、株価は 12 月下旬に下落し、長期的にみてもだんだんと下落しています。

・投資額：約 20 万円

☆B-R サーティワンアイスクリーム コード:2268

・日経会社情報より

【最終減益】出店は 80、閉店は 30 を予定。上期既存店売上高は震災による店舗休業の影響が大きく前年を下回ったが、夏場の売り上げ好調で下期は前年を上回る見通し。原材料価格安定や販管費削減が寄与して営業増益。経常益も増。震災による店舗設備や製品などの損失を特損に計上し、最終利益は減少に。

・データ

資本金:7 億 3500 万円

従業員数:152 人 (2011 年 1 月)

「『We make people happy』

アイスクリームビジネスを通じて人々に幸せをとどける」を基本理念にしています。サーティワンのネーミング、フレーバーの豊富さには、「お客様に 1 ヶ月間毎日違ったおいしさを楽しんで頂きたい」という願いが込められています。

・商品

ストロベリーチーズケーキなど豊富フレーバーで、季節に合った 31 種類がラインナップされます。

・株価



12月下旬に大きく下落しています。大幅にユーロ安が進んだ影響です。

・投資額：約 20 万円

《ここまでの投資》

岩塚製菓は亀田製菓に比べて規模が小さいため、アイスは冬期には販売量が減少するので比較のために約 20 万円を投資しました。

☆森永乳業

・日経会社情報より

【経常益横ばい】震災により期初は生産に遅れ。利益率の高いアイスクリームの好調や生産コスト削減で、売上高・経常利益ともに前期並みに。牛乳やコーヒーなど原料高が懸念材料。特損消え最終増益。

【アイス】17 億円を投じ 9 月までに設備を増強。大人にも好評の「パルム」の生産能力を 5 割増やす。

・データ

資本金:217 億 400 万円

従業員数:3092 人 (男 2516 女 576)

「乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する」「『おいしいをデザインする』～いままでにない『おいしい』の提案を追求する～」を基本理念にしています。

・商品

楽しさを表現したデザインの商品を提供しています。人気の商品としてはピノなどがあります。

・株価



大きな変化はありませんが、長期的にみるとゆるやかに下落しています。アイスクリームは冬期には販売量が減少するからです。

・投資額：約 10 万円

森永乳業は B-R サーティワンアイスクリームよりも冬期の商品が少ないためにこの投資額にしました。

アイスクリームを販売する企業の株価は冬期に下落する傾向があるようです。しかし、今回はユーロ安など平年とは異なる事情があったのではっきりとしたデータを得ることはできませんでした。

学習のまとめ

私たちは日経ストックリーグに参加して、株取引がより身近に感じられるようになりました。今まで私たちにとって株というものはニュースの中だけの存在でしたが、仮想資金で株取引をすることによって世の中の動きが日本経済を大きく変えているという事実に深く関心をもつことができました。不況にあえぐ今日の経済では様々な株式会社やその他の会社が今の状況を何とか打開しようと日々努力しているのが分かりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災と翌日からの福島第一原子力発電所における放射能漏れを伴う事故の影響も大きくみられ、ほとんどの企業では減益の傾向がありました。さらに、原材料価格の高騰による減益もみられました。2008年頃からのこの状況はお菓子を販売する企業にとって厳しいものです。しかし、その一方で、非常に安定している企業もありました。

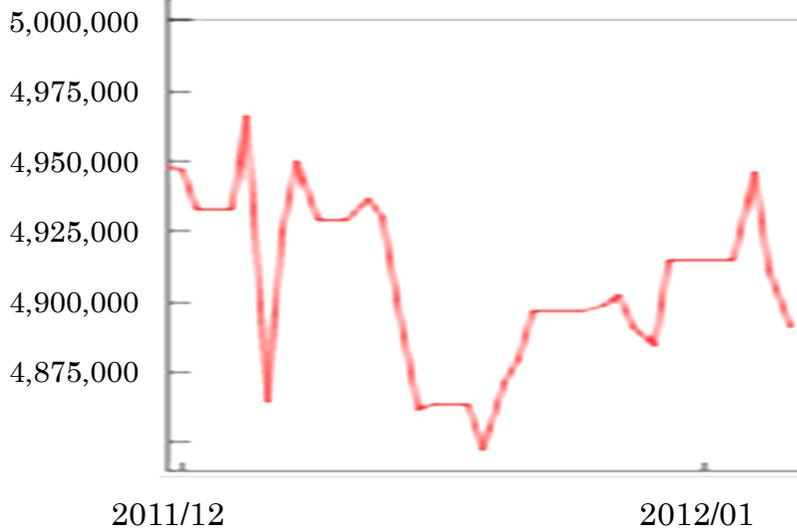
株価の変動は様々な要因に基づいています。各社が抱える問題や、国際的なニュースや、流行など私たちが注目したこと以外にもいろいろな理由があります。私たちが考える以上に株の世界は深いものであると思います。私たちの身近にあるお菓子というテーマによってその一部を垣間見ることができてとても貴重な体験になりました。

ポートフォリオの結果

2011年11月30日～

MAX=4,965,826円

MIN=4,861,793円



私たちの投資額の合計は 4931453 円です。もともと私たちは利益をあえて追求しませんでした。冬の時期にアイスを販売する企業を比較対象として投資をすることもしました。

12月の初旬に急落しているのは、明治ホールディングスの株価が急落したからです。その後持ち直しましたが、大幅な変化をした後にまた下落してしまいました。お菓子の業界にとって今の状況は厳しいです。画期的な新商品の開発や技術の発達がこれからのこの業界にとって大切だと思われまます。

参考文献

国際ココア機関

<http://www.icco.org/>

日本チョコレート・ココア協会

<http://www.chocolate-cocoa.com/index.html>

日経会社情報

株価検索

<http://finance.yahoo.co.jp/>

商品の画像は各社ホームページからとりました。